

B型ワクチンの定期接種化



- ・平成28年10月1日～実施
 - ・対象年齢 生後1才に至るまでの者。（ただし平成28年4月1日以後に生まれた者に限る）
 - ・接種方法 合計3回。4週間以上の間隔で2回、さらに初回接種から20週以上経過した後に1回委託医療機関にて個別接種（北河内5市相互乗り入れ実施予定）
 - ・標準的な接種期間 生後2か月～生後8か月の期間
 - ・自己負担 なし

尚、今年4月から7月生まれの子どもには個別郵送されます。

職員を参加させ、小中一貫教育の成果と考え方を徹底してたき込み、教職員の「意識改革」をはかり、更なる推進を図ろうとするものである。教職員、保護者子ども、市民の声を聞き、みんなの力で学校や教育をつくっていく姿勢はまつたく見られない。「管理制度の教育」が一層強化されつつあると思わざるを得ない講演だった（N）

「小学校の先生は、
单年度完璧主義なう
で、4年の担任はこ
・6年へのつながり
を意識していない」
のような講演をしま
たが、そんなことな
りません。小学校
の教師は他の学年の
子どもたちのことと
ちやんと見ているし
、子どもの成長・発達
に応じたそれぞれの
学年の課題について
もわかつっています。

30日教育フォーラム 参加者から感想

参加者から感想

地域公共交通協議会

市民公募3人 23人の委員で

9月議會

6日の建設水道常任委員会では、地域公共交通協議会の設置が審議されました。

今年立ち上げて、2年後の平成30年度に「地域公共交通網計画」を策定するまでの協議会です。

車などの活用も視野にいれて考えてみるべきです。

また、高齢者バスカード（非課税の高齢者に

委員は23人で、市民公募3人、京阪電車・バス、JR、タクシー関係、商業団体、老人クラブ、障害者団体、自治会の代表者です。

高齢者や障害者が気軽に出てかけられるように、細かく交通網をつくるには、現在4地域で活用されている買い物対策の車や、福祉自動車として24小学校区で運行している軽自動

年後の平成30年度に
「地域公共交通網計画」
を策定するまでの協議
会です。

来年度以降で、アン
ケート調査、パブリツ
クコメントなどを実施
します。

いれて考えてみるべきです。

タウンくる、シャトールバスに加えて、乗り合いタクシーなども全国541自治体で実施しており、小まわりがきいて、大型バスより安価であることから検討するべきです。

また、今運行しているバス路線を大切にす

また、高齢者バスカード（非課税の高齢者に運賃3000円分のカードを2000円で販売）について考えてみるべきです。

定のICポイントサービス（タウンくるを含む京阪バスに10回乗車すると1回無料）など業の拡充についても検討すべきです。

ラム参加者
から引き続
き感想が寄
せられています▼大
学教授の講演の内容
に関する感想で「講
演者が平成17年の池
の里小学校（池田西
町、現在の池の里市
民交流センター）と

西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2-16-11
090-1025-7503

と思わざるを得ない
講演だつた（N）



「小学校の先生は、単年度完璧主義なので、4年の担任は5・6年へのつながりを意識していない」
ような講演をしましたが、そんなことはありません。小学校の教師は他の学年の子どもたちのこともちやんと見ていくし、子どもの成長・発達に応じたそれぞれの学年の課題についてもわかつています。

から削除）の採決では、数人の市議が本会議場から退席する事態にまでなりました▼その時の廃校の理由に「小中一貫教育をすすめるためには、1つの中学校に2つの小学校が望ましい。3つではうまくいかない」ということがありました。振り返ってみれば、1つの中学校に3つの小学校でも良かつたのではないかと思つています。（T）

タクシードリームの視野に
わざわざ『すばらしきこと』と評価した。
施設一体校の小中一貫校づくりは根深い
と感じました。今回
の教育フォーラムの講演者はその時の校
区問題審議会の委員でした」という内容
でした▼当時、池の里小学校は500人
規模の学校であり多くの保護者と地域が

るためにも、市民が公共交通を活用することも大事です。

補正予算は委員報酬で16人分（7人は行政関係機関などのため無報酬）。





これまでの動きと今後の主な予定(見込み)

平成28年度(2016年度)	
6月	市長表明(中核市移行) 市議会が「中核市移行調査特別委員会」を設置
7月	中核市調査課を設置 大阪府へ協力要請(副知事表敬訪問)
8月~	「(仮称)府・市中核市移行検討会議」の設置 「(仮称)保健所移管ワーキンググループ」の設置 移譲事務への対応検討を開始
平成29年度(2017年度)	
4月~8月	総務省・厚生労働省との協議資料の作成 市保健所設置等に伴う組織、職員配置に係る採用計画の作成 府から市、市から府への職員派遣の協議・調整
9月	「(仮称)中核市移行計画書(案)」のパブリック・コメント手続の実施 中核市移行に係る必要な専門職等の採用試験
11月	「(仮称)中核市移行計画書」の策定
12月	総務省・厚生労働省との協議資料の提出
1月	総務省・厚生労働省との協議(ヒアリング)
3月	市議会に「中核市指定の申出」に係る議案を付議、議決
平成30年度(2018年度)	
4月	大阪府に「中核市指定の同意」に係る申入れ 市職員を大阪府へ派遣し実務研修を開始
5月	大阪府が「中核市指定の同意」に係る議案を府議会へ付議、議決
6月	大阪府が「中核市指定」に同意
8月	総務大臣に「中核市指定の申出」を提出
9月	中核市移行に係る必要な専門職等の採用試験
10月	国による「中核市指定」に係る閣議決定、政令公布
12月	関係条例等の制定・改廃
3月	大阪府知事との事務引継書の締結
平成31年度(2019年度)	
4月	中核市への移行 寝屋川市保健所の開設(厚生労働省への報告)

市議会

第1回開催される



中核市移行調査特別委員会

議員会

かずえ
中林

8月30日、寝屋川市議会「中核市移行調査特別委員会」が開かれ、太田議員・中林議員が参加しました。

6月議会で北川法夫市長が平成31年4月をめざし、中核市移行を表明したことを行うて市議会に設置されたものです。

7月27日に大阪府に対し、中核市移行に関する協力要請が行われ、8月には、府内の中核市制度調査・研究会と大阪府・寝屋川市中核市移行検討会議が設置されました。

中核市移行の今後のスケジュール(案)では、来年29年度では、9月「中核市移行計画書案」のパブリックコメント、3月「中核市指定の申し出に係る議案の上程、議決」、平成30年度は、12月「関

係条例等の制定・改廃」となっています。(左表参照)

日本共産党議員団は、9月「中核市移行計画書案」のパブリックコメント、3月「中核市指定の申し出に係る議案の上程、議決」、平成30年度は、12月「関係条例等の制定・改廃」となっています。(左表参照)

尚、本市に市民病院がないことによる医師の確保の問題、市職員の人数が府内でも最低であること、保健師の確保も課題と言えます。

日本共産党議員団は、研究テーマとして、書類の提出、業務

- ①財源の確保
- ②保健所運営と新たに必要な人員の確保
- ③保健所以外の新たな
- ④児童相談所の設置の検討
- ⑤市民や職員の合意形成
- ⑥移行による市民サー

中核市移行により、大阪府から寝屋川市に移譲される事務(施策等)は1710事務あり、うち264事務がすでに寝屋川市に移譲されています。

また、移譲事務のうち、約半分が保健所事務です。中核市移行調査特別委員会は公開で行われますので傍聴が可能です。

今年3月、寝屋川市は中核市移行に関する参考資料として、「中核市移行に関する検討調査報告書」を作成しました。議員団ホームページに掲載しています。



8月24日、池田南町の事務所で毎週水曜日に開催している「モニーニング(市政懇談)会」が300回を迎えた。

当日は、毎週買い出しから準備までがんばっていただいています。丁の包丁が集まりました。

出しから準備までがんばっていただいています。丁の包丁が集まりました。

ビスの向上、について提案しました。

尚、本市に市民病院がないことによる医師の確保の問題、市職員の人数が府内でも最低であること、保健師の確保も課題と言えます。

尚、私は毎水曜日、モニーニング会の前にスーパー玉出前の交差点付近で、街頭宣伝をしています。

得意なこと、苦にられないことで周りの人と助け合えたら良いと感じました。尚、私は毎水曜日、モニーニング会の前にスーパー玉出前の交差点付近で、街頭宣伝をしていました。